クセスできます。

平成30年2月19日 京都府立東舞鶴高等学校

国際文化コース 志楽小学校英語レクチャー体験(2月8日)

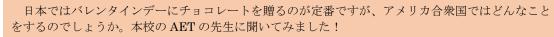
2月8日(木)、志楽小学校の4年生(58名)の皆さんに、英語を教えるレクチャー体験をしました。この取り 組みに向けて「異文化理解」の授業で準備をしてきました。数字、顔の名称、または物の形を表す表現を学んでも らった後、それを使ったゲームを一緒にしました。この英語レクチャー活動は、今年で5回目となりました。

この箱の物って、ど 数字と時刻の聞き方答え方を教えて -緒に発音してね! んな形ですか? います。みんなよく知っていて、び round かなあ わかった!

感想:

- ○普段教えることがないので、新鮮でとても楽しかったです。また、小学生と触れ合える機会もめったにないので貴重 な経験でした。教えることは難しいことだと感じました。
- ○うまくいくかどうか不安でしたが、授業で行ったリハーサルを通して、時間の使い方を改善して臨みました。しっか りと先生をやりつつも、小学生と近い距離でコミュニケーションをとりながら、授業をすることができたと思います。
- ○今回の体験を、今後の進路選択などで生かしたいです。

What do people do on Valentine's Day in the U.S.?





└ Veronica 先生

Valentine's Day is an extremely popular holiday celebrated in the U.S. The U.S observes this holiday to honor Saint Valentine and to express love to dear ones. People express gratitude and love for sweethearts, teachers, parents or any other person close to them. Men and women will give gifts like chocolate and flowers to each other. People go on dates and send cards telling others how they are special to them. I look forward to Valentine's Day and I am excited to celebrate Valentine's Day in Japan!

(男性と女性どちらもがプレゼントを交換するようですね。)

Levi 先生

In the US, both men and women (mostly men) give presents to their boyfriend/girlfriend or husband/wife on February 14th. Some popular presents are Valentine's cards, chocolate and roses. Roses in the west have different meanings based on their color. A red rose represents love, yellow represents friendship and peach represents thankfulness. Valentine's Day is also known as Single Awareness Day, for those who don't have a romantic partner to spend the holiday with. Hope you get some chocolate this Valentine's Day!

(手渡すバラの色によって意味が異なるそうです!面白い!)

もうすぐ卒業の3年国際文化コースの和田真佐希君(白糸中出身)に

インタビューしました。

①なぜ国際文化コースを選んだのですか。

他校にはない珍しいコースだったのが気になり選びました。また、校外での学習 が多く、直接異文化に触れることができると姉から聞いたのが主な理由です。

2国際文化コースで学んでよかったと思うことは何ですか。

人の前で発表する機会が多かったことが僕にとって良い勉強でした。なぜなら、 国際文化コースに入るまで、緊張しやすい性格だったからです。しかし、様々な 発表を多くの人の前ですることにより、今では自分に自信を持って話すことがで きるようになりました。こういった点が国際文化コースでしか学べない魅力だと 思います。



ド・エディンバラ語学 研修での体験を発表 しました!

Namaste ~ネパールからの手統~

昨年度から、青年海外協力隊員としてネパールでボランティア活動をされている英語科吉積勇人先生からのメッセージをお届けします。

皆さんナマステ!

ネパールは寒さが和らいできて、各部族の新年を迎え始めました。至る場所でお祝い事が行われており、皆仕事が手につかない雰 囲気です。

そんな中私は数カ月に及ぶ教材作成活動を行っていたのですが、先日遂に自作のワークブックが完成しました。書き込み式、練習 問題多数、ネパール語多用等が特徴なのですが、おそらく日本の視点で考えると「だから?」といった印象ですよね?実はこれらの 観点はネパールの学校に欠落している要素なんです。

ネパールで使われている英語の教科書は、すべて英語で記載されており、練習問題が非常に少ないです。授業のスタイルも先生が 40分ひたすら話し続け、先生が黒板に書いたことをノートに写したり、先生が言ったことを復唱するだけという受け身型がほとんど です。大抵の生徒は6教科に対してノートを一冊しか持っていない場合が多く、家庭によってはノートや鉛筆を買い渋ることもあり ます。書く練習が極端に少ない一方で、試験では書いたものが評価され、その成績によって人生が左右されることが多いです。現状 では、10年生(15~16歳)になっても自分の名前を完璧に英語で書けない生徒が多数います。

これらの教育問題に疑問を感じ、JICA のサポートを受けて英語ドリルを出版しました。 驚くべきことは、生徒に配布したところ、何の指示もしていないにも関わらず一日で20ペ ージ以上取り組んでくる生徒が多数いました。この現象から、ネパールの子どもたちの「勉 強したい」という強い意志を感じました。よく日本の英語教育は批判されがちですが、日本 の英語教育だからこそ、できた支援なのではないかと思っています。皆さんが当たり前だと 思っている学習方法や環境は、国境を超えると羨ましがられるものなのかもしれません。 JICA のボランティア隊員としてのラストスパートをかけて日本へ帰りたいと思います。

